

団体名:気軽にすけっと**活動名:地域住民のくらしの困り事を互いに助け合う活動****日時:令和3年 8月3日(火) 13時30分 ~ 15時00分**
場所:豊治学童保育所(中川区)**◆団体の紹介◆**

周りには、困っている人がたくさんいるのに、声をかけたり相談にのることが、一人ではできない。その解決のため、地域住民が気軽に相談・解決できる場、気楽に相談できる仲間づくり、仕組み作りを、活動を通して実現します。お互い様の助け合いを通して、安心・安全に住み続けられる地域づくりを目指して活動する団体です。

■活動の内容■

助成2年目となる今年度は、特に「地域の他団体との連携」に力を入れています。「ペープサー、絵本の読み聞かせ、農業体験」等を行うことで、地域の若い子育て世代と繋がりをつくり、高齢者だけではなく、子育て世代の「すけっと」としても、活動をすることを目指しています。



さて、本日の活動は、学童保育所が舞台です。写真のような六角形の紙、これが、不思議なことにくるくると3面に変わります。それぞれの面に絵を描き、その変化を楽しむ紙遊びを、子どもたちと一緒にを行います。1年生から6年生までの子どもがいるということで、すけっとの皆さんが、あらかじめ六角のかたちに形成したものを用意しました。先生は「これに絵を描くことなら、小さい子たちにもできそうです。」と気配りに安堵の様子です。

すけっとのメンバーが、前に立って説明し、「どんな絵を描いてもいいんだよ」と言うと、早速子供たちは、見本を見たり、参考になる本を探しに行ったり。そのあと思い思いの画材を手に取り、描き始めました。各テーブルに、1~2人のすけっとメンバーが付いて、「どんなのが作りたい?」「こうしたら?」など、丁寧に声をかけて、製作を応援します。メンバーには元保育士さんもみえて、慣れた様子で子どもたちと接していました。

今年の学童保育では、恒例行事であったキャンプや近隣施設への訪問などが行えずにいます。そんな中、「このように違う世代との交流ができたことが有難い」と、学童保育の先生から、嬉しいお言葉が聞かれました。すけっとのこのような地道な活動の甲斐あって、最近は高齢者の方からだけではなく、子育て世代の親御さんからも、お困りごとの依頼がきた、ということです。

「気軽に困りごとを相談できる場づくり」を目指しているすけっとですが、相談事の解決だけではなく、相談しやすい環境づくりにも力を入れ、地域に着実に根を張ってきていると、実感できる活動内容でした。このような活動を積み重ね、困ったことがあってもお互い相談して、安心して暮らせる地域が実現できるよう、期待しています。

